

I. 調査の概要

1. 調査目的

「ボランティア元年」と言われた阪神・淡路大震災から 20 年を迎えるにあたり、県民ボランティア活動を行っている団体やグループの実態や課題、ニーズ等を把握し、これまでの兵庫のボランティア活動の取り組みを評価し、今後の活動の支援方策を検討するための基礎資料とすることにより、県民ボランティア活動を促進する。

本調査は、昭和 59 年度から実施し、今回で第 8 回目となる(前回調査は平成 21 年度)。

県民ボランティア活動実態調査実施状況

	年度	調査対象数	有効回答数	有効回答率(%)	調査時期
第 1 回	昭和59年度	1,698	1,049	61.8	昭和60年 1 月
第 2 回	昭和63年度	2,391	1,594	66.7	昭和63年10月～11月
第 3 回	平成 4 年度	3,811	2,991	78.5	平成 5 年 1 月
第 4 回	平成 8 年度	5,196	3,859	74.3	平成 9 年 1 月～ 2 月
第 5 回	平成12年度	8,208	4,829	58.8	平成12年11月～12月
第 6 回	平成16年度	8,785	5,547	63.1	平成16年11月
第 7 回	平成21年度	5,000	2,206	44.1	平成21年11月

(注 1) 昭和 59 年度から平成 8 年度まではボランティア活動動向調査、平成 12 年度から県民ボランティア活動実態調査。

(注 2) 昭和 59 年度調査では対象数は明示されていないが、県内ボランティアグループ数を 1,698 としていたので、これを対象数とした。

(注 3) 平成 21 年度調査は、調査対象の中から 5,000 団体を無作為抽出した。

2. 調査対象

県内で活動しているボランティア活動団体から無作為抽出した 5,000 団体

本調査では、「ボランティア活動」とは、次のいずれの項目にも該当するものをいう。

- ① 県民が行い、又は県民のために行う活動であること
- ② 自発的で自律的な活動であること
- ③ 不特定かつ多数の利益の増進に寄与する営利を目的としない活動であること
- ④ 宗教活動・政治活動を主たる目的とする活動等でないこと

母集団名簿は、県内市区町社会福祉協議会への登録団体及び県内 N P O 法人名簿(平成 26 年 5 月 16 日現在) から重複を除外して作成した(7,063 団体)。

3. 調査方法

郵送によるアンケート調査(回答者へ直接送付、回答者から直接返送)

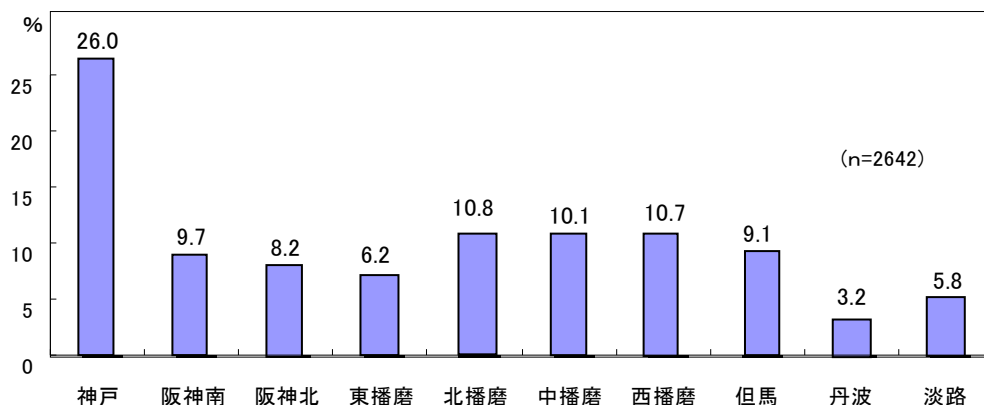
4. 調査時期

平成 26 年 7 月

5. 回答状況

調査対象数	有効回答数	有効回答率
5,000 団体	2,642 団体	52.8%

地域（県民局）別 回答のあったグループ・団体



地域別の有効回答率をみると、西播磨地域が 63.4%と高く、神戸地域が 44.9%と低くなっている。

回答状況（地域別）

地域名	地域内市町名	調査対象数	有効回答数	有効回答率(%)
神戸	神戸市	1,532	688	44.9
阪神南	尼崎市 西宮市 芦屋市	533	257	48.2
阪神北	伊丹市 宝塚市 川西市 三田市 猪名川町	414	216	52.2
東播磨	明石市 加古川市 高砂市 稲美町 播磨町	306	165	53.9
北播磨	西脇市 三木市 小野市 加西市 加東市 多可町	466	286	61.4
中播磨	姫路市 神河町 市川町 福崎町	483	268	55.5
西播磨	相生市 たつの市 赤穂市 宍粟市 太子町 上郡町 佐用町	448	284	63.4
但馬	豊岡市 養父市 朝来市 香美町 新温泉町	408	241	59.1
丹波	篠山市 丹波市	145	84	57.9
淡路	洲本市 南あわじ市 淡路市	265	153	57.7
合計		5,000	2,642	52.8